



簡単メイクで 血色のよい
大人顔が完成！

vol. 3
山本浩未式
ごきげん顔美容
Otona Beauty

人気ヘアメイクアップアーティスト山本浩未さんが、「50代がごきげんな表情」になる美容のテクニックを紹介します。今回のテーマは「ベースメイク」。すぐまねできそう！

photograph: Shohei Yokoyama(t.cube)<model>, Chifuyu Aizawa(biswa.)<still>
styling: Kazumi Yasutake(kili office) hair & make-up: Hiromi Yamamoto
model: Kai text: Megumi Imai



1

人さし指、中指、薬指の3本の腹で、頬と額に日焼け止めをトントンと置き、そこから顔全体にのばす。

使用色
SPF35, PA++, ノンケミカル、イエローベースで肌色を整えるUV化粧下地。イースペシャル トーンアップUV ¥5,400 / 美人製造研究所

肌をきれいに、そして守る 簡単ベースメイク

大人の肌に必要なのは、赤み＝血色感

見えるのです

「大人の肌にとつてのベースメイクにはふたつの意味があります。ひとつは『肌をきれいに見せる』。もうひとつは『肌を守る』ということ」と山本浩未さん。どんなに前向きな気持ちでいても、肌に余分な影が生まれ、悲しいかな元気に見えないのが大人の肌なのです。

「大人の場合、ただ肌を明るくするだけではなく、赤み＝血色感を足すことが必要。華やかさが加わり、ナチュラル感がアップして肌が健やかに

使うのは日焼け止めとステック、もしくはクリームファンデーション、唇と頬に使えるリップ＆チークのみ。「これは最低限の手間できれいになれるメイクアイテム。これをベースにお出かけなら、ポイントメイクを加え、ほんの少し色や質感を足すだけで、おしゃれを楽しむことができますよ」

今日は家で過ごすという日も、肌さえきれいならご機嫌に過ごせるはず。

ヘア&メイクアップアーティスト

山本浩未さん

今すぐ実践できるメイクテクニックと明快なメイク理論、そして明るい人柄で女性誌やさまざまな媒体で活躍中。9/29、NHKカルチャーの梅田、名古屋教室で「大人美容始めること、やめること2018」を開催。

